



## コロナ禍での生徒の頑張りに感動

第二学期を振り返ると、例年より早い8月24日から始まり、従来行ってきた学園体育祭がなく、また安田祭もWEB上となりコロナ禍で今までとは違うものでした。しかし、生徒の皆さんは勉強やクラブに制限された中で挑戦し本当によく頑張っていたと思います。

その中で、高校男子バレーボールクラブが15年ぶり6回目の「春の高校バレー」に出場することになりました。これは、決して恵まれているとは言えない環境の中で生徒と教員が創意工夫して活動してきた成果です。3ヶ月間クラブ活動が禁止の中で生徒一人一人の折れない強い精神力がその後の活動を支え、実を結んだのです。東京体育館で自分たちの持ち味を十分に発揮できることを祈っています。頑張れ横網健児！

また、高校男子卓球クラブは、6年連続で全日本選手権への出場が決まりました。全日本選手権の一般の部に出るクラブ員は、社会人も含めた東京都予選を勝ち抜いて得たものであり大変な快挙であります。1月11日から大阪で開催されます。健闘を祈ります！

さらに、高校生物クラブは、「第18回高校生科学技術チャレンジ JSEC2020」において、一貫部6年生1名が「テレビ朝日特別奨励賞」、一貫部4年生の2名が「優秀賞」を受賞しました。本校の得意とする「ハチ」の研究が外部の評価を得ていることは、今後の更なる研究の励みになるとでしょう。また、6年生の生徒は大学でも研究課程に進学とのことで今後の活躍に期待します。

現在、学校全体で取り組んでいる英語資格上級取得において、一貫部4年生先進コースの生徒が実用英語検定1級に合格しました。高校生で1級に合格することは大変名誉なことであり、本校としても近年にない快挙であります。その努力に対し敬意を表します。

中学生においてもコンクール等での表彰がありました。一貫部1年生全員が夏休みの課題として提出した「第58回中学生作文コンクール」において、先進コースの生徒が全国で4番目に相当する「優秀賞」を受賞しました。これは、(公財)生命保険文化センターが文部科学省、金融庁、全日本中学校長会の後援ならびに(一社)生命保険協会の協賛を得て、全国の中学生を対象に実施しているものであり、今回は全国879校、26,018編の応募の中から選考されました。自分の経験談をもとに作成されておりその内容が高く評価されました。本校にとっても約10年ぶりの表彰で、今後の更なる活躍に期待します。

さらに、一貫部2年生全員が夏休みの課題として取り組んでいる「税についての作文」において、本所税務署長賞の他7名の生徒が今回表彰を受けました。これは、国税庁他が募集したもので全国4,875校、313,477編の応募の中から選考されました。税を正しく理解することは大切なことです。今回を契機に税への意識がさらに高まることを願っています。

今回名前が挙がらなかったクラブや生徒の皆さんも一生懸命活動しています。次に目指す大会やコンクールなどに向けてしっかり力を蓄えて欲しいと思います。

冬期休業中は、健康に十分留意して年末年始を過ごしてください。1月8日の第三学期の始業式には、新年の新たな決意を抱いて登校することを期待します。